

令和 5 年 度
加 須 市 農 業 集 落 排 水 事 業
進 捗 管 理 調 書



令和 6 年 8 月

埼 玉 県 加 須 市
上 下 水 道 部 下 水 道 課

目 次

1 本書の位置付け	1
2 事業概要	2
3 令和5年度業務状況	3
4 農業集落排水事業 財政の状況	4
(1) 財政状況	4
(2) 地方債現在高等の推移	5
5 農業集落排水事業 各事務事業の実績・評価	6
(1) 維持管理	6
(2) 加入促進	7
(3) 使用料収納対策	8

1 本書の位置付け

本書は、令和3年2月に策定された「第2次加須市総合振興計画」における、農業集落排水事業に関する各事業の実施状況及び事業実施による効果を、各成果・目標指標に対する達成度で評価し、事業の改善に資するものである。評価の基準は下表のとおりである。

評 価		達成度評価基準
1	目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の80%以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去2年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の80%以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の80%未満となったものをいう。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値がいずれも目標値の50%未満となったものをいう。

指標の設定がない場合においては、「2概ね達成」以下の評価基準とする。

2	概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行えた。
3	やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みのうち、いくつか遅れが生じている。
4	大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっている。

2 事業概要

本市の農業集落排水事業は、加須地域 2 処理区、騎西地域 12 処理区、北川辺地域・大利根地域が各 1 処理区、合計 16 処理区で実施している。処理区域内の全体面積は、加須地域 124.4ha、騎西地域 378.5ha、北川辺地域 10.0ha、大利根地域 41.0ha、合計 553.9ha である。

【各処理区の概要】

地域・処理区名称	計画面積 (ha)	整備面積 (ha)	処理計画 人口	公共ます 設置戸数	総事業費 (千円)	計画日最大 汚 水 量 (m ³ /日最大)	供 用 開 始 年 月
加須地域							
① 串作処理区	33.7	33.7	900	238	878,000	297.0	平成 17 年 5 月
② 大越処理区	90.7	90.7	2,640	667	2,352,400	871.0	平成 21 年 6 月
小計	124.4	124.4	3,540	905	3,230,400		
騎西地域							
③ 名倉処理区	5.5	5.5	240	54	116,800	72.0	昭和 60 年 4 月
④ 外田ヶ谷処理区	25.0	25.0	1,270	293	1,344,000	387.0	平成 12 年 4 月
⑤ 下崎処理区	24.0	24.0	970	217	1,021,400	284.0	平成 12 年 4 月
⑥ 上種足処理区	39.0	39.0	1,630	340	1,443,240	486.0	平成 13 年 4 月
⑦ 中ノ目戸室処理区	45.0	45.0	1,820	374	1,538,460	558.0	平成 13 年 4 月
⑧ 鴻荃川北処理区	33.4	33.4	660	141	732,100	181.0	平成 14 年 4 月
⑨ 内田ヶ谷処理区	44.0	44.0	440	112	600,100	137.0	平成 14 年 4 月
⑩ 上崎処理区	30.0	30.0	1,010	316	1,338,900	303.0	平成 15 年 4 月
⑪ 中種足処理区	56.0	56.0	2,170	509	2,055,500	717.0	平成 16 年 4 月
⑫ 川南芋白処理区	21.4	21.4	590	163	728,000	177.0	平成 17 年 4 月
⑬ 本村戸塚処理区	29.2	29.2	860	217	990,000	284.0	平成 19 年 4 月
⑭ 根古屋牛重処理区	26.0	26.0	970	243	1,098,000	320.0	平成 21 年 4 月
小計	378.5	378.5	12,630	2,979	13,006,500		
北川辺地域							
⑮ 伊賀袋処理区	10.0	10.0	300	90	131,000	90.0	平成元年 8 月
大利根地域							
⑯ 北大桑・新井新田処理区	41.0	41.0	880	206	882,600	290.0	平成 21 年 4 月
合計	553.9	553.9	17,350	4,180	17,250,500		

※総事業費は、新設時の事業費であり、改修事業費は除く。

3 令和5年度業務状況

項 目	令和 5 年度	令和 4 年度	比 較	
			増 減	比 率
計画人口 (人)	17,350		—	
公共ます設置戸数 (戸)	4,180	4,171	9	100.2%
加入戸数 (戸)	3,269	3,242	27	100.8%
加入率 (%)	78.2	77.7	0.5	100.6%
処理水量 (m³)	883,739	904,548	△20,809	97.7%
有収水量 (m³)	858,357	864,158	△5,801	99.3%
有収率 (%)	97.1	95.5	1.6	101.7%
使用料単価 (円)	145.6	177.0	△31.4	82.3%

令和5年度における業務状況は、公共ます設置戸数 4,180 戸に対し加入戸数 3,269 戸、加入率は 78.2%となり、前年度と比較し 0.5%増加した。

また、汚水処理水量 883,739 m³に対し、有収水量 858,357 m³で、有収率は 97.1%となり、前年度と比較し 1.6%増加した。

なお、公営企業会計への移行に伴う打切決算により、出納整理期間がなかったため、使用料単価が前年度と比較して減少した。

4 農業集落排水事業 財政の状況

(1) 財政状況

□歳 入

区 分	令 和 5 年 度			令 和 4 年 度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
分担金及び負担金	6,059,000	0.9	△13.8	7,033,000	1.0	△17.0
使用料及び手数料	124,979,471	17.8	△18.3	152,965,205	20.8	6.4
県支出金	0	0	—	0	0	—
繰入金	488,789,000	69.7	△1.0	493,651,000	67.3	△2.9
繰越金	67,261,497	9.6	14.3	58,858,349	8.0	48.7
諸収入	203,433	0.0	△25.5	272,957	0.0	△3.8
市債	13,500,000	1.9	△35.7	21,000,000	2.9	皆増
合 計	700,792,401	100	△4.5	733,780,511	100	4.7

□歳 出

区 分	令 和 5 年 度			令 和 4 年 度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総務費	57,077,426	9.1	△7.5	61,708,283	9.3	△4.5
維持管理費	190,515,775	30.4	△14.8	223,637,069	33.5	13.5
公債費	379,011,078	60.5	△0.6	381,173,662	57.2	0.3
予備費	0	0	—	0	0	—
合 計	626,604,279	100	△0.6	666,519,014	100	3.9

□実質収支に関する調書

区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度	
	金 額	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)
1 歳入総額	700,792 千円	△4.5	733,780 千円	4.7
2 歳出総額	626,604 千円	△6.0	666,519 千円	3.9
3 歳入歳出差引額(実質収支額)	74,188 千円	10.3	67,261 千円	14.3

(注) 歳入、歳出差引額等が整合しないのは、端数処理によって生じたものです。

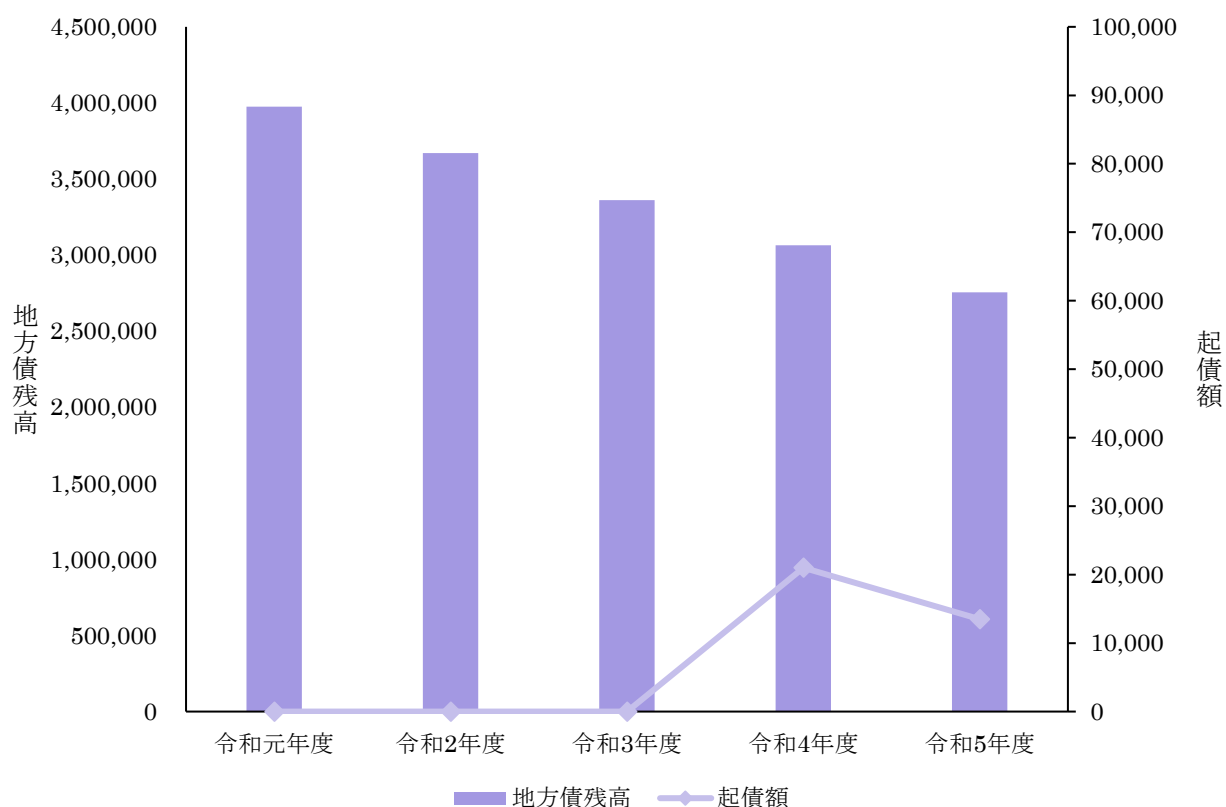
(2) 地方債現在高等の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
起債額	0	0	0	21,000	13,500
元金償還額	298,191	304,083	310,095	317,419	321,478
利子償還額	81,788	75,902	69,890	63,755	57,533
地方債残高	3,974,516	3,670,433	3,360,338	3,063,919	2,755,941

地方債残高と起債額の推移

(単位：千円)



農業集落排水事業特別会計は、令和6年4月1日に地方公営企業法を適用するとともに、下水道事業会計へ会計統合した。歳入歳出差引残額 74,188,122 円は、下水道事業会計へ引き継いだ。

5 農業集落排水事業 各事務事業の実績・評価

(1) 維持管理

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和5年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
1	農業集落排水維持管理事業	【目的】 農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことにより、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。	・16処理区の適正な維持管理（水質検査・法定検査、保守点検、汚泥処理 等） 118,480千円 ・処理施設機械設備等の修繕 18,250千円	1・ 目標を達成	指標(単位)	処理水のBOD (mg/ℓ以下)						供用開始後約20年経過する未改修の処理施設もあることから、処理施設や機械設備等の計画的な改修・更新が今後の課題となる。
	年度	令和2年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)			
	目標	10			10	10	10	10	10			
	実績	2.5			2.5	2.8	2.1					
	【評価の理由】 適切な維持管理によって、法令上の排水基準（20mg/ℓ以下）を満たすとともに、目標値も達成することができた。											
	下水道課	【概要】 農業集落排水処理施設の適正な維持管理のため、施設の修繕、更新、保守点検、浄化槽の法定検査、処理水の水質検査等を実施する。										

処理区名 年度	串作	大越	名倉	外田ケ谷	下崎	上種足	中ノ目 戸室	鴻荃川北	内田ケ谷	上崎	中種足	川南芋白	本村戸塚	根古屋 牛重	伊賀袋	北大桑・ 新井新田	平均
令和元年度	1.9	4.1	7.0	1.8	2.3	1.8	1.8	1.1	0.7	3.7	1.4	2.5	1.8	2.0	9.2	2.4	2.6
令和2年度	2.0	3.5	4.5	2.8	2.2	1.5	1.7	2.5	1.6	2.4	1.6	2.7	2.3	1.7	9.8	1.7	2.5
令和3年度	3.6	4.0	4.2	2.2	1.8	1.9	1.8	1.1	1.0	2.6	1.4	1.9	1.7	2.0	11.6	2.7	2.5
令和4年度	3.4	3.7	3.2	2.8	2.1	2.3	2.4	2.4	1.1	3.1	2.0	3.1	2.2	2.0	11.5	2.2	2.8
令和5年度	1.5	2.5	4.0	1.2	1.4	2.4	2.2	1.7	1.4	3.1	1.7	1.6	1.4	2.0	4.0	2.2	2.1

(2) 加入促進

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和5年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の実施内容等
2	農業集落排水加入促進事業	【目的】 農業用排水路の浄化のため、 農業集落排水処理施設への加入 を促進し、快適な生活環境の確 保を目指す。	・加入促進計画の策定 ・戸別訪問による加入促進 （70件） ・新規加入27件	2・概 ね 達 成	指標(単位)	農業集落排水処理施設の加入率（16処理区の平均加入率）					引き続き、未加入世帯への 戸別訪問を実施し、加入率向 上を目指す。
					年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)
					目標	80.5	81.3	82.1	82.8	83.4	83.9
	下水道課	【概要】 毎年度、加入促進計画を作成 し、計画に基づき、貸付制度の 周知を図りながら戸別訪問を実 施する。			実績	76.5	77.1	77.7	78.2		
					【評価の理由】 戸別訪問を実施した結果、加入率が向上したため。						

○各処理区の加入率

処理区名 項目	串作	大越	名倉	外田ヶ谷	下崎	上種足	中ノ目 戸室	鴻基川北	内田ヶ谷	上崎	中種足	川南芋白	本村戸塚	根古屋 牛重	伊賀袋	北大桑・ 新井新田	合 計
公共ます設置戸数（戸）	238	667	54	293	217	340	374	141	112	316	509	163	217	243	90	206	4,180
令和4年度接続戸数(戸)	159	451	53	239	183	303	344	114	80	239	336	134	159	202	90	156	3,242
令和5年度接続戸数(戸)	161	455	53	240	185	307	348	115	80	240	338	134	160	206	90	157	3,269
加入率（％）	67.6	68.2	98.1	81.9	85.3	90.3	93.0	81.6	71.4	75.9	66.4	82.2	73.7	84.8	100.0	76.2	78.2
増減（％）	0.5	0.6	0	0.3	1.0	0.1	0.5	0.7	0	0.3	0.4	0	0.4	1.0	0	0.5	0.5

(3) 使用料収納対策

【第4章】豊かな自然と快適な環境のまちづくり

【第4節】快適で暮らしやすいまちをつくる

【第2項】きれいな水の再生

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	令和5年度の実組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
3	農業集落排水処理施設使用料収納対策事業	【目的】 農業集落排水事業の貴重な自主財源である農業集落排水処理施設使用料収入を確保し、事業の健全な運営を図る。	・給水停止の執行（月2回） ・未納転出使用者についての調査 ・新規使用開始者に対する口座振替の勧奨 ・休日の臨宅徴収（関係課：水道課）	2・概ね達成	指標(単位)	農業集落排水処理施設使用料収納率（％）						農業集落排水処理施設使用料は、水道料金との同時収納という形態をとっており、その徴収事務を水道事業に委託している。このため水道事業との連携を図りながら、収納率向上に取り組んでいく。
	年度	令和2年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度（目標年）			
	目標	99.7			99.7	99.7	99.7	99.7	99.7			
	実績	98.6			98.4	98.4	98.3					
	【評価の理由】 督促や催告、臨宅徴収等に取り組んだ結果、前年度と同じ収納率を確保できたため。											
	下水道課	【概要】 現年度分の未納を早期に解消し、滞納繰越額を着実に圧縮することを基本に、水道事業と連携した滞納整理対策を実施する。										